

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

1. 職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

項目		取り組み内容
1 業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内での情報共有システムを利用し、事前に会議準備を行い、会議全体の時間短縮を図る。 患者、家族の入院説明を動画視聴にて行い、説明時間の短縮を図る。
2	・薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> 一般病棟、療養病棟の薬剤個包と配薬車セットを行うと共に服薬指導の増加を図る。 一般病棟における処方漏れ確認の実施。
3	・リハビリ職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)	<ul style="list-style-type: none"> 病棟リハビリスタッフを担当者制とする。 療法士による喀痰吸引の実施
4	・診療放射線技師	<ul style="list-style-type: none"> 検査時の患者の搬送を行う。 造影剤注入のための静脈確保を行う。
5	・臨床検査技師	検体、輸血の搬送を行う。採血業務の実施、静脈確保を行う。
6 看護職員と多職種の役割分担	・臨床工学技師	<ul style="list-style-type: none"> 各部署への医療機器の提供および操作 医療機器の中央管理
7	・その他 (管理栄養士、MSW、病棟クラーク、施設課、総務課、経理課)	<ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士による食事内容変更対応 医師の回診時に療法士、看護師、管理栄養士、MSW、MCの同行(一般、回復期、障害者病棟にて実施、薬剤師は一般病棟に参加) リネン、病衣、基準寝具の搬入業務の外部委託 廃棄物回収と廃棄処理作業の業務を施設営繕課にて実施 総務課、経理課事務職員による院内搬送補助の実施 地域連携課による転院時搬送同行の協力
8	・その他(管理栄養士・調理)	厨房でのトロミ茶作成と、食間分のお茶の準備
9	・看護師間の応援	部署間の応援体制により看護師間の業務負担の軽減を図る。
10 看護補助者の配置	・看護補助者の夜間配置	急性期看護補助体制加算50:1の維持 療養病棟の夜間看護加算の維持 障害者病棟看護補助体制加算75:1の維持
11 短時間正規雇用の看護職員の活用	・短時間正規雇用の看護職員の活用	妊娠中の夜勤の減免制度および育児短時間勤務の導入
12	・院内保育所	院内保育所の維持
13	・夜勤の減免制度	「育児短時間勤務申出書」の提出、承認により実施
14	・休日勤務の制限制度	「育児短時間勤務申出書」の提出、承認により実施
15 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	・半日・時間単位休暇制度	半日単位休暇制度の継続
16	・所定労働時間の短縮	「育児短時間勤務申出書」の提出、承認により実施
17	・他部署への配置転換	希望者と看護部長で面談を行い承認の上実施
18	・夜勤負担の軽減	一般病棟の看護職員夜間16:1配置加算の維持 療養病棟の夜間看護加算の維持

2. 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等

項目		取り組み内容
1	夜勤の連続回数が2連続(2回)まで	全病棟にて実施
2	早出・選出等の柔軟な勤務体制の工夫	早番・選番業務を一般病棟にて実施
3	看護補助業務のうち5割以上が療養生活上の世話	全病棟にて実施
4	看護補助者の夜間配置	全病棟にて実施
5 管理	みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上	全病棟にて実施
6	夜間保育所の設置	事前希望者が利用できる夜間院内保育所を継続
7	ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> 離床センサーの活用を全病棟にて実施 眠りスキャンによる患者観察 ニブロHN LINEによるバイタルサイン自動入力システム導入 見守りカメラによる患者確認